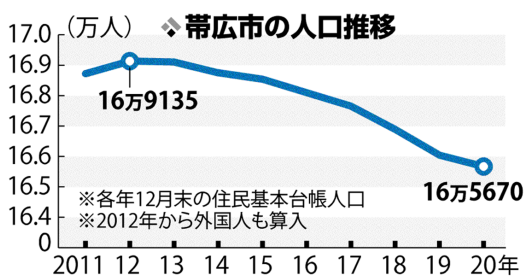


人口帯広が釧路上回る

12月末「3人」差で



道内5、6位逆転 減少幅に違い

住民基本台帳に基づく昨年12月末の人口で、帯広市(16万5670人)が釧路市(16万5667人)を「3人」上回ったことが、12月までに分かった。道内順位は帯広が5位、釧路が6位

となった。12月末人口は帯広市が前月比34人増だったのに対し、釧路は151人減。11月末時点での人口差は182人だった。年間では帯広が373人減、釧路は24

19人減で、帯広の減少幅は釧路より小さかった。帯広市の米沢則寿市長は「東北北海道の各都市と連携、協力しながら、地域全体の魅力向上につなげるとともに、存在感のある地域づく

りに努めたい」とのコメントを出した。道内の人口は札幌市が1位、2位は旭川市、3位は函館市、4位は苫小牧市。(川野遼介)

帯広 16万5670人
釧路 16万5667人

帯広市は12日、住民基本台帳に基づく2020年(12月末)の同市の人口を公表した。前年より373人減って16万5670人となった。新型コロナウイルスの感染拡大を背景に移動が抑制傾向となり、2016年以來4年ぶりに転入超

過(324人)となった。自然減は進行したが、減少幅は近年では抑えられる形になった。

減は拡大。昨年1年間の出生数は1074人(78人減)だったのに対し、死亡者数は774人だった。年齢別の

は1848人(39人減)で、自然減は前年より39人多い774人だった。年齢別の

外国人は878人(37人増)。世帯数は単身世帯の増加などにより8万9041世帯(865世帯増)となった。(川野遼介)

昨年1年間の転入は7430人(242人減)。うち道外からは1891人(74人減)、道内からは5339人(168人減)。転出は7106人(691人減)で道外が1921人(200人減)、道内は5185人(491人減)となっている。

社会動態は15、16年に計98人の増加を記録し、17年以降は減少傾向が続いていた。新型コロナウイルスの影響で転入・転出とも大きく減少、結果的に転入が転出を上回る「社会増」に転じたとみられている。

死亡が出生を上回る自然

死亡が出生を上回る自然